



ウナギの生態を知ろう

日時： 2015年1月15日（木）16時 - 18時

会場： 東京海洋大学品川キャンパス 附属図書館 1階スペース

講師： 海部 健三（かいふ・けんそう）農学博士／中央大学法学部助教

参加費： 無料（どなたでもお気軽にご参加ください）

海洋マネジメント研究会 主催／東京海洋大学附属図書館 協力

ニホンウナギは、マリアナ海溝付近で産卵し孵化した後に、台湾・中国・日本などの河口部にシラスウナギとして到来、川をのぼって親ウナギに成長するとされています。私たちがもっともなじみ深い養殖ウナギは、稚魚であるシラスウナギを捕獲して養鰻場で育てられたものです。

しかし、シラスウナギの漁獲量は1960年代から減少し続けています。環境省は、2013年2月にニホンウナギを絶滅の恐れのある種に選定、国際自然保護連合（IUCN）は、2014年にニホンウナギを絶滅危機1B類／絶滅危惧種に指定しました。シラスウナギの価格の高騰から、各地の養鰻場もその存続が心配されています。

こんなウナギのまだまだ謎の多い生態について、IUCNによるウナギ属魚類のアセスメントにも参加した気鋭の研究者、海部健三さんからお話を伺います。

参加お申し込みや予約は不要です。どなたでもお気軽にご参加ください。

【講師プロフィール】

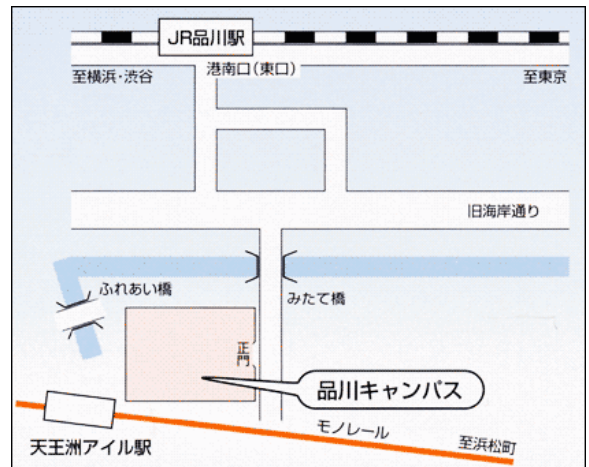
海部 健三（かいふ・けんそう）

農学博士・中央大学法学部助教

1973年、東京都生まれ。1998年、一橋大学社会学部を卒業後、社会人生活と東京水産大学（当時）の科目等履修生を経て2005年に東京海洋大学海洋科学技術研究科修士課程を修了、2011年に東京大学農学生命科学研究科の博士課程を修了。同年、東京大学農学生命科学研究科特任助教。2014年4月から現職。専門は保全生態学。

現在は河川や沿岸におけるニホンウナギの生態のほか、頭足類（イカやタコの仲間）の聴覚を研究している。

著書に『わたしのウナギ研究』さ・え・ら書房（2013年）など



■会場ご案内 ■

東京海洋大学 品川キャンパス 附属図書館
〒108-8477 東京都港区港南4-5-7

品川キャンパスまでは

- JR/京浜急行線 品川駅港南口から徒歩10分
- 東京モノレール天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、裏門まで徒歩5分
- りんかい線天王洲アイル駅から「ふれあい橋」を渡り、裏門まで徒歩10分

附属図書館は、正門から約100m進んだ左手にあります。正門の守衛所でお尋ねください。

本セミナーについてのお問い合わせ

☎ 03-5463-0574

（東京海洋大学 沿岸域管理研究室）